

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（令和元年度中間）

1 支援の内容及び効果等（1）

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の提案内容等
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の提案内容等
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の提案内容等
- (4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の提案内容等

評価	左記の理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・年度始めに各地域の現状と課題を整理し、的確に支援していた。 ・ツルラボ（鶴見区地域活動研究会）を地域課題に寄り添ったテーマで開催し、地活協の構成員をはじめ、構成員以外の方も多く参加していた。 ・積極的な部会支援により、自律的に運営される部会が増えてきた。 ・組織運営にかかる底上げ支援を行ったことで、部会の定着も進んできた。 ・基礎的な内容を徹底的に支援することで、一部の地域で議決の在り方などが改善されてきた。

2 支援の内容及び効果等（2）

評価項目

- (1) 自由提案による地域支援の提案内容等
- (2-1) スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる提案内容等
- (2-2) フォロー（バックアップ）体制等にかかる提案内容等
- (3) 区のマネジメントに対応した取組にかかる提案内容等

評価	左記の理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・ツルラボ（鶴見区地域活動研究会）を地域課題に寄り添ったテーマで開催し、多くの参加者が見られたとともに、参加者の80%以上が地域の取組に生かしたいと回答しており、有効であった。 ・職員のスキルを生かし、地域の課題やニーズにマッチした有効な支援が提供できていた。 ・他区・本部との連携を密に取っており、当区の支援に反映させていた。 ・積極的に他区のワークショップ、研修等に参加し、支援員のスキルアップに尽力していた。

3 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）の状況及び効果等（5つ以内）

評価項目

区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）にかかる提案内容等

評価	左記の理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・ ツルラボ（鶴見区地域活動研究会）を地域課題に寄り添ったテーマで開催し、地活協の構成員だけでなく、構成員以外の方も多く参加された。

4 総合評価【全体】

評価	左記の理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体として妥当な支援である。 ・ 年度始めに各地域の現状と課題を整理し、的確に支援された。 ・ ツルラボ（鶴見区地域活動研究会）を地域課題に寄り添ったテーマで開催し、地活協の構成員だけでなく、構成員以外の方も多く参加された。 ・ 積極的な部会支援により、自律的に運営される部会が増えてきた。 ・ 職員のスキルを生かし、地域の課題やニーズにマッチした有効な支援が提供できた。 ・ 他区・本部との連携を密に取られており、当区の支援に反映させている。

(評価基準)

- S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。
- A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。
- B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。
- C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。